

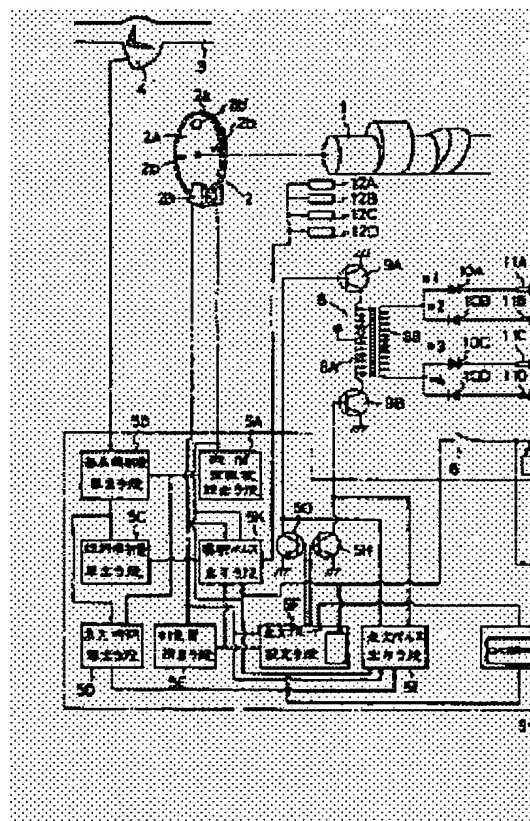
CYLINDER DISCRIMINATOR FOR MULTI-CYLINDER INTERNAL- COMBUSTION E

Patent number: JP60240875
Publication date: 1985-11-29
Inventor: ISHIGAMI KAZUHIRO
Applicant: NISSAN JIDOSHA KK
Classification:
- international: F02P7/077; F02P5/15; F02P7/02
- european:
Application number: JP19840094667 19840514
Priority number(s):

Abstract of JP60240875

PURPOSE: To realize early firing thus to improve the starting performance considerably by storing the crank angle position of each cylinder under engine stall and deciding the crank angle position state of each cylinder even at first rotation of engine on the basis of said stored data.

CONSTITUTION: A crank angle sensor 2 is fixed to the cam shaft 1 for driving an intake/discharge valve rotatable synchronously with the engine to produce the referential position signal for each cylinder. The engine rotation is detected 5A in a control unit 5 on the basis of the output from said sensor 2 to calculate 5B the basic injection in accordance to the output from an air-flow meter 4 and the engine rotation. Memory means 5F for sequentially storing the output signals from means 5F for setting a cylinder group to perform next time ignition on the basis of a referential position signal and #1 cylinder detection signal is provided in the control unit 5. The data stored during stall of engine is stored until #1 cylinder detection signal is fed at the start of engine thus to set the cylinder group to be ignited.



(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開昭60-240875

(43) 公開日 昭和60年(1985)11月29日

FI	
(51) Int. Cl. ⁸ F 0 2 P 7/077 5/15 7/02	識別記号
(21) 出願番号 特願昭59-94667	(71) 出願人 989999999 日産自動車株式会社 神奈川県 石上 和宏
(22) 出願日 昭和59年(1984)5月14日	(72) 発明者 石上 和宏 *

審査請求 未請求 請求項の数1 (全8頁)(10)

(54)【発明の名称】多気筒内燃機関の気筒判別装置

(57)【要約】

要約テキストはありません。

【特許請求の範囲】

【請求項1】多気筒内燃機関の特定の気筒の所定のクランク角位置を検出する手段と、該検出手段からの信号に基づいて各気筒のクランク角位置状態を検出する手段と、機関停止時における各気筒のクランク角位置状態を記憶する手段と、機関始動時機関回転が開始されてから

前記特定気筒の所定のクランク角位置番号を最初に検出するまでの間に、前記記憶手段に記憶されたデータに基づいて各気筒のクランク角位置状態を検出する手段とを設けて構成したことを特徴とする多気筒内燃機関の気筒判別装置。

【発明の詳細な説明】

詳細な説明テキストはありません。

【図面の簡単な説明】

図面の簡単な説明テキストはありません。

邦国60-24075(2)

て満足となり、輸入行商が、未開拓地を新島に出
中の旅行行程中にある某地で着火してバック
イ・ヤ・ア・ア・タバンを起こし、活動性も高くな
る。

以上、上記の問題は、電子状態によって各異質
質に風を吹くもの（シー・ア・ン・タル・イン・ジェン
ション）についても、特定のタンタル内位置を知る必
要があるため、特許に生じる。

③発 明者	石上 和 宏	横浜市鶴見区大黒町 6 番地の 1 地区内	日産自動車株式会社鶴見
④出 願人	日産自動車株式会社 弁護士 飯島 寛二様	横浜市神奈川区宝町 2 番地	
⑤出 願代理人			
⑥出 願代理人			

出 願 昭 59(1984) 5 月 14 日

(説明の概要)

このため、本説明は、第一図に示すように特定位置の所定のクランク位置を抽出する手段と、該抽出手段からの信号に基づいて各位置のクランク位置を抽出する手段と、該抽出手段にお

多気管内燃機関の気体性質位置
 ・ 特許請求の範囲
 従来、この種の気体燃料装置による制御装置と
 して、例えば、特公昭40-8281号公報に示
 されるものがある。
 多気管内燃機関の特定の気体の所定のクラック

また、特別図57-8328号公報に記載されるように、各気体の発人行程にタイミングを合わせ、各気流調整器に燃料を供給する（シーケンシャルインジェクション）制御装置がある。このものにおける各気流調整器のクランク角位置の制御は、カム軸と同様に、同時に同定する円板に各気流の上流流路に固定させておいたスリットをスキャベンジャーを掃出し、

本系明は、多気管内燃機関において、点火や燃

以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明す

第一図は、本発明に係る気動料計置を利用した、たん及及び燃料計置の一例を示す。この図において、4サイクル気動機の燃料回注に同期して回注する吸・排気弁駆動のカム軸1のクランク角センサ2はカム軸1の一部に固定されたクランク角センサ2はカム軸1の一部に固定された検出アセンブリ2Aと、検出アセンブリ2Aの周りを回して得る位置フィードバック2Bとで構成される。

構成される。番号プレースメントは外周端に多数の突起部が形成され、これより内周側に突起部が形成されると共に、これより内周側に各突起の上端は前70°のラテラル角位置に対応して4個のスパレットが設けられ、この中特定のスパレット（本実施例では第15番）に対応するスパレットは、他の突起に対応するスパレットと比べて位置に形成されている。そして、前記充電コネクタアッパ28は突起が凸出するクラッキング角度1°毎に番号（以下、「信号」という）を出力し、スパレット及びスパレットが凸出する毎に各突起の上端近前70°のラテラル角位置番号（以下、「突起位置番号」という）を出力する。

また、韓国の吸気通路も上流部分には吸入空気
濾過口を抽出するエアフロメータが設けられる。
これらの流量計とセンサ及び制御回路部を行うコ
ンローエニットのほかに、点火及び燃料噴射部を行な
うコンローエニットにも入力される。コンロー
エニットは図示のような各種手段を備えて構
成される。

機関回転数換出手段は、所定時間当りにク

